

日独バイオマステー

～バイオガスによる地域活性化と温暖化防止の可能性～

2年前に再生可能エネルギーの固定価格買取制度(FIT)が始まり、バイオガス発電事業の開発案件も増えています。しかし、バイオガスの本格的な普及拡大のためには、技術やコスト、運用面での課題も多く残されているのが実態です。他方で、ドイツでは制度改正や技術が確立した2005年を境にバイオガスは急拡大を続け、今では8,000基を超えるプラントが設置されています。もちろん、ドイツと日本では条件や環境の違いなどを考慮する必要がありますが、それらを踏まえてもバイオガス利用の先進国であるドイツの知見や経験は、日本に多くの示唆を与えるものと考えられます。一方、ドイツはバイオガスの国内市場が飽和し、近年日本を含む海外市場への関心を高めています。このような状況から、日独間のバイオガス分野における連携を深めるべく、本シンポジウムを開催する運びとなりました。本シンポジウムは、政府、研究者、企業などのステークホルダー間の協力や連携を見据え、双方のバイオガス利用の現状、これまでの連携における成果および問題点や今後に向けて解決すべき課題を把握することを目的として開催いたします。

開催日時	2014年11月7日(金) 10:00～17:30
会場	東京大学 弥生講堂 一条ホール (東京都文京区弥生1-1-1)
言語	ドイツ語/日本語 (同時通訳付き)
共催	株式会社富士通総研/エコスコンサルタント
後援	環境省、農林水産省、ドイツ連邦環境・自然保護・建設・原子炉安全省、ドイツ連邦食料・農業省、バイオガス事業推進協議会、一般社団法人日本有機資源協会、株式会社森林環境リアライズ
参加費	無料

プログラム

9:30	開場
10:00-10:15	開会挨拶 環境省 大臣官房審議官 中井徳太郎 ドイツ連邦環境・自然保護・建設・原子炉安全省 国際部次長 ハラルド・ナイツェル
10:15-11:30	バイオガスに対する政策支援 セッション1モデレーター:株式会社富士通総研 経済研究所 梶山恵司 「ドイツにおける温暖化防止に向けたバイオエネルギーの役割 -バイオ廃棄物のエネルギー利用」 ドイツ連邦環境・自然保護・建設・原子炉安全省 国際部次長 ハラルド・ナイツェル 「将来のエネルギーシステムにおけるバイオエネルギー -ドイツの政策枠組み-」 ドイツ連邦食料・農業省 ミヒャエル・ケスラー 「日本におけるバイオマス政策」 農林水産省 食料産業局 バイオマス循環資源課 課長 谷村栄二
11:30-11:45	休憩
11:45-12:45	持続可能な地域の発展と温暖化防止におけるバイオガス利用の重要性 -研究、革新的開発、戦略- セッション2モデレーター:ドイツバイオマス研究センター ヤン・リーベトラウ 「日本におけるバイオガス利用の課題とチャンス」 株式会社富士通総研 経済研究所 上級研究員 加藤望 「エネルギーシステムの鍵となるバイオガス -ドイツにおける現状と展望」 ドイツバイオガス協会理事 ステファン・ラウ 「バイオガスを使った日本のバイオマスタウン事業の事例」 一般社団法人日本有機資源協会 事務局 主幹 土肥哲哉
12:45-13:45	昼食休憩

申込先: <http://www.fujitsu.com/jp/group/fri/resources/events/other/biomass-20141107.html>

プログラム(続き)

13:45-14:40
セッション2(後半)

「ドイツにおけるバイオマスに関する研究開発の現状および最新の法規制条件」
ドイツ再生可能資源エージェンシー シニアプロジェクトマネージャー ペトラ・シュッセラー

「バイオガスによる温暖化防止に向けた地域の取り組み」
ザーベック町長 ヴィルフリッド・ロース

14:40-15:20
セッション3(前半)

日本・ドイツのバイオガス利用推進における技術および制度面での課題
セッション3モデレーター:エコスコンサルタント 取締役 ペーター・ベック

「日本におけるバイオガス利用の概要」
バイオガス事業推進協議会 事務局長 岡庭良安

「ドイツにおけるバイオガス原料の多様化ー現状と展望」
ドイツバイオマス研究センター 生化学変換部 部長 ヤン・リーベトラウ

15:20-15:35 休憩

15:35-16:15
セッション3(後半)

「バイオガス発電事業のビジネス展開」
株式会社リナジェン 代表取締役社長 三嶋大介

「マルチタレントのバイオガス」
エンビテック・バイオガス株式会社 アジア本部長 ヘンドリック・ファンデアトル

16:15-17:20

パネルディスカッション
「バイオガス分野における日独連携の可能性について」

パネリスト
ドイツ連邦環境・自然保護・建設・原子炉安全省 国際部次長 ハラルド・ナイツェル
ザーベック町長 ヴィルフリッド・ロース
ドイツバイオガス協会理事 ステファン・ラウ
有限会社エコハート 代表取締役 小野元伸
特定非営利活動法人環境パートナーシップいわて 副代表理事 佐々木明宏

モデレーター
株式会社富士通総研 経済研究所 上席主任研究員 梶山恵司

17:20-17:30 **閉会挨拶** 株式会社富士通総研 経済研究所長 徳丸嘉彦

17:45-19:00 レセプション(弥生講堂エントランスホール)

※プログラムは変更の可能性がございます。
※当日の資料は、イベント終了後、サイトに掲載する予定です。(一部掲載不可の場合有り)
※レセプションは参加無料です。飲み物と軽食をご用意しています。

申込先: 富士通総研ホームページ(URL)よりお申込みください。



<http://www.fujitsu.com/jp/group/fri/resources/events/other/biomass-20141107.html>

お問い合わせ先

株式会社富士通総研 経済研究所 日独バイオマスデー事務局
〒105-0022 東京都港区海岸1丁目16-1 ニューピア竹芝サウスタワー
メール: fri-keizaiken-ws@cs.jp.fujitsu.com / 電話: 03-5401-8392

shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために